

【パブリックコメント参考資料】

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月06日

計画の名称	日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備							重点配分対象の該当					
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)												
交付対象	日進市												
計画の目標	<p>本計画は、第一東海自動車道(東名高速道路)の東郷PAにスマートインターチェンジ(スマートIC)の進入路等を整備するものである。</p> <p>日進市内には東名高速道路への出入口が存在せず、高速道路へのアクセス性向上が求められている状況である。</p> <p>スマートICの整備により、市民の利便性の向上、周辺道路の渋滞緩和はもとより、企業活動の活性化、観光の振興、大規模災害への対応強化等が期待できるものである。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,174	A	1,174	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R7末)
1	高速道路へのアクセス性向上 スマートIC周辺企業から東名三好ICまでのアクセス時間を計測(機織池周辺地区)(平日朝7時台)	20分	分	14分
2	高速道路へのアクセス性向上 スマートIC周辺企業から東名三好ICまでのアクセス時間を計測(日進研究開発団地)(平日朝7時台)	12分	分	6分
3	観光の振興 市内観光(観光施設、まつり)の来場者数を集計	46万人	万人	111万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

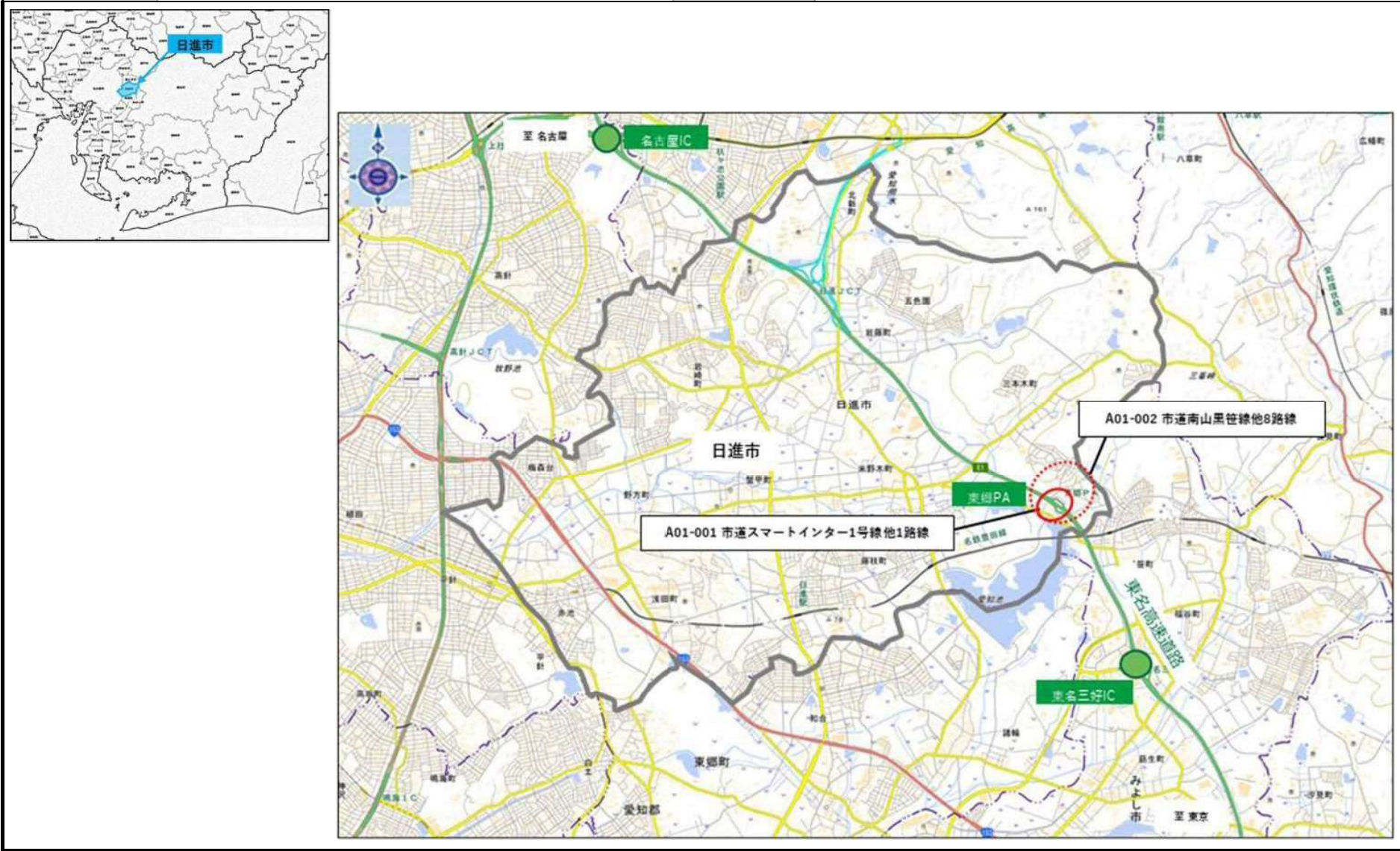
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	日進市	直接	日進市	市町村道	改築	市道スマートインター1号線他1路線	ICアクセス（0次、一次）L=0.6km	日進市	■	■	■	■		421	1.6	未策定
	A01-002	道路	一般	日進市	直接	日進市	市町村道	改築	市道南山黒笹線他8路線	道路付替等 L=1.2km	日進市	■	■	■	■	■	753	1.6	未策定
											小計						1,174		
											合計							1,174	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	R06
配分額 (a)	0	0	0	1	1
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	0	0	0	1	1
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	0	0	0	1	1
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の対象	日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備		
計画の期間	令和2年度～令和6年度	交付対象	日進市



事前評価チェックシート

計画の名称： 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○



令和7年度

第1回日進市社会資本整備総合交付金評価委員会

説明用資料

(日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備)

令和8年3月16日

■ 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備

①目的

日進市内には第一東海自動車道(東名高速道路)への出入口が存在せず、高速道路へのアクセス性向上等が求められている状況です。東郷PAにスマートインターチェンジの進入路等を整備することにより、市民の利便性の向上、周辺道路の渋滞を緩和するとともに、企業活動の活性化、観光の振興、大規模災害への対応強化等を目的としたものです。

②施行期間

令和2年度～令和6年度

③事業内容

- 市道スマートインター1号線 外10路線
- 用地買収業務 40,390㎡

社会資本総合整備計画 事後評価

① 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備

④概算事業費

約22～26億円(用地費を除く) うち日進市分は約5～7億円

⑤進捗状況

令和2年度 修正予備設計業務

令和3年度 用地調査業務・詳細設計業務

令和4年度 土地鑑定評価業務・物件調査業務

令和5年度 用地買収着手(令和6年度末時点の進捗率 13.1%)

⑥全国のスマートIC整備状況

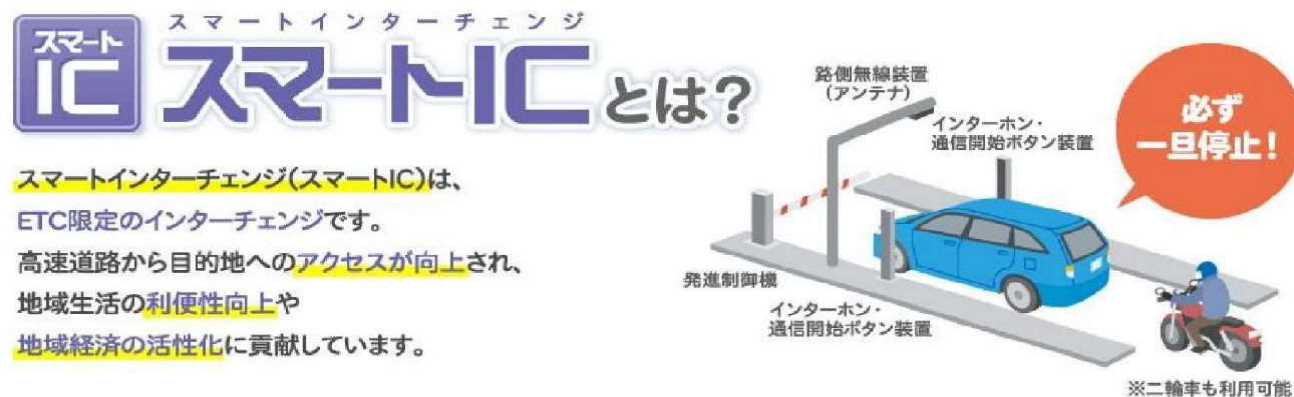
- ・国土交通省では、既存の高速道路の有効活用や、地域生活の充実、地域経済の活性化を促進するため、建設・管理コストの削減が可能なスマートICを導入することとしています。
- ・現在、スマートICは全国で163箇所が開通済み、事業中の箇所は53箇所、準備段階調査中の箇所が2箇所あります(R7年12月現在)。

社会資本総合整備計画 事後評価

① 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備

● スマートICとは

スマートインターチェンジ(以下「スマートIC」といいます。)は、高速自動車国道(以下「高速道路」といいます。)の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジ(以下「IC」といいます。)であり、通行可能な車両(料金の支払い方法)を、ETCを搭載した車両に限定しているICです。利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため、従来のICに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。(※国土交通省HPより)



■ SA・PA接続型

スマートICのうち、高速道路との接続箇所が、サービスエリア・パーキングエリアであるものです。既存の施設を活用することにより、比較的容易にアクセス路を確保することができます。



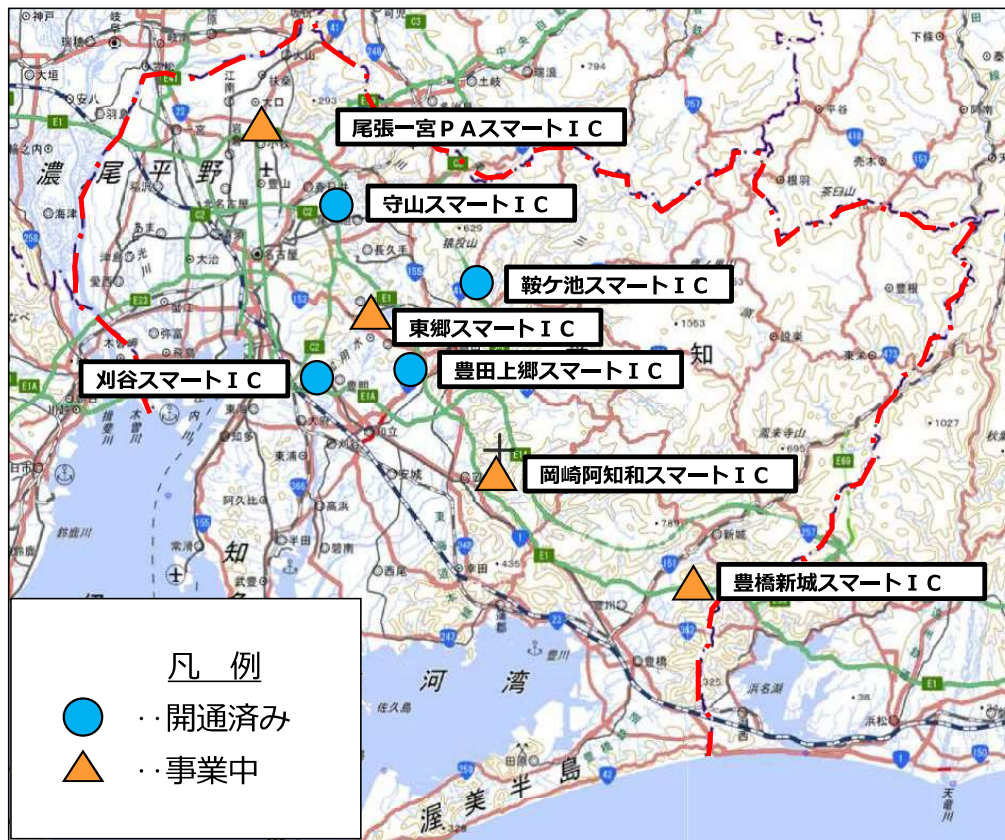
図1 スマートICとは

社会資本総合整備計画 事後評価

① 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備

● 愛知県内のスマートIC整備状況

・愛知県内でも、多くの箇所でスマートICの導入が進められています。現在、愛知県内のスマートICは4箇所が開通済み、4箇所が事業中となっています。



スマートインターの名称 (※仮称)	市名	備考
● 鞍ヶ池スマートIC	豊田市	H21.4.1開通
● 守山スマートIC	名古屋市	H30.3.24開通
● 豊田上郷スマートIC	豊田市	R3.3.27開通
● 刈谷スマートIC	刈谷市	R4.3.26開通
▲ 岡崎阿知和スマートIC※	岡崎市	事業中
▲ 東郷スマートIC※	日進市	事業中
▲ 豊橋新城スマートIC※	豊橋市・新城市	事業中
▲ 尾張一宮PAスマートIC※	一宮市・岩倉市	事業中

国土地理院地図より作成

図2 愛知県内のスマートIC整備状況

社会資本総合整備計画 事後評価

① 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備

● スマートICの計画位置について

- ・日進市が計画する東郷PAにおけるスマートICは、日進市南東部にあり、東名高速道路の名古屋ICから約7.5km、東名三好ICから2.2kmの位置にあたります。

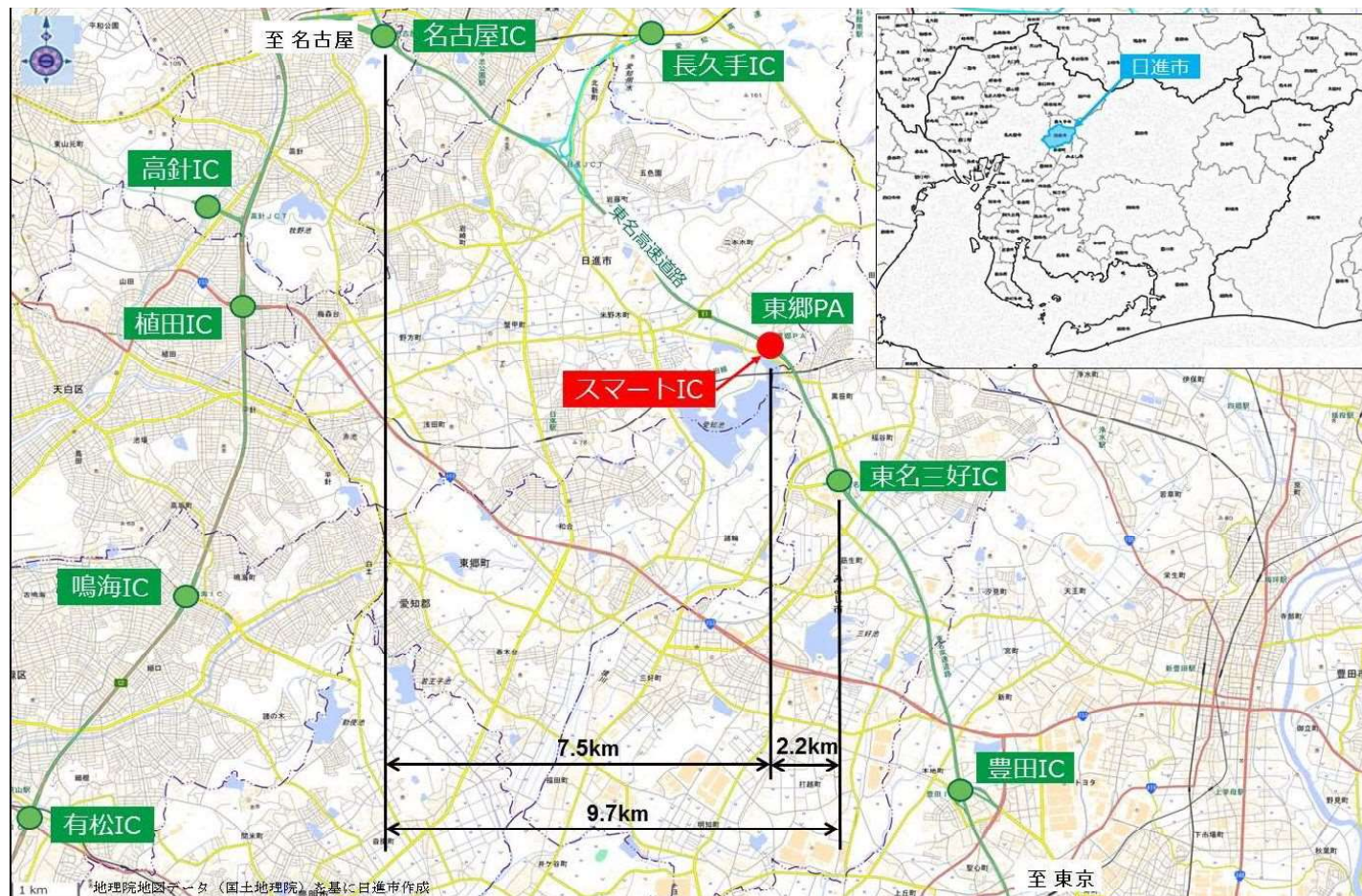
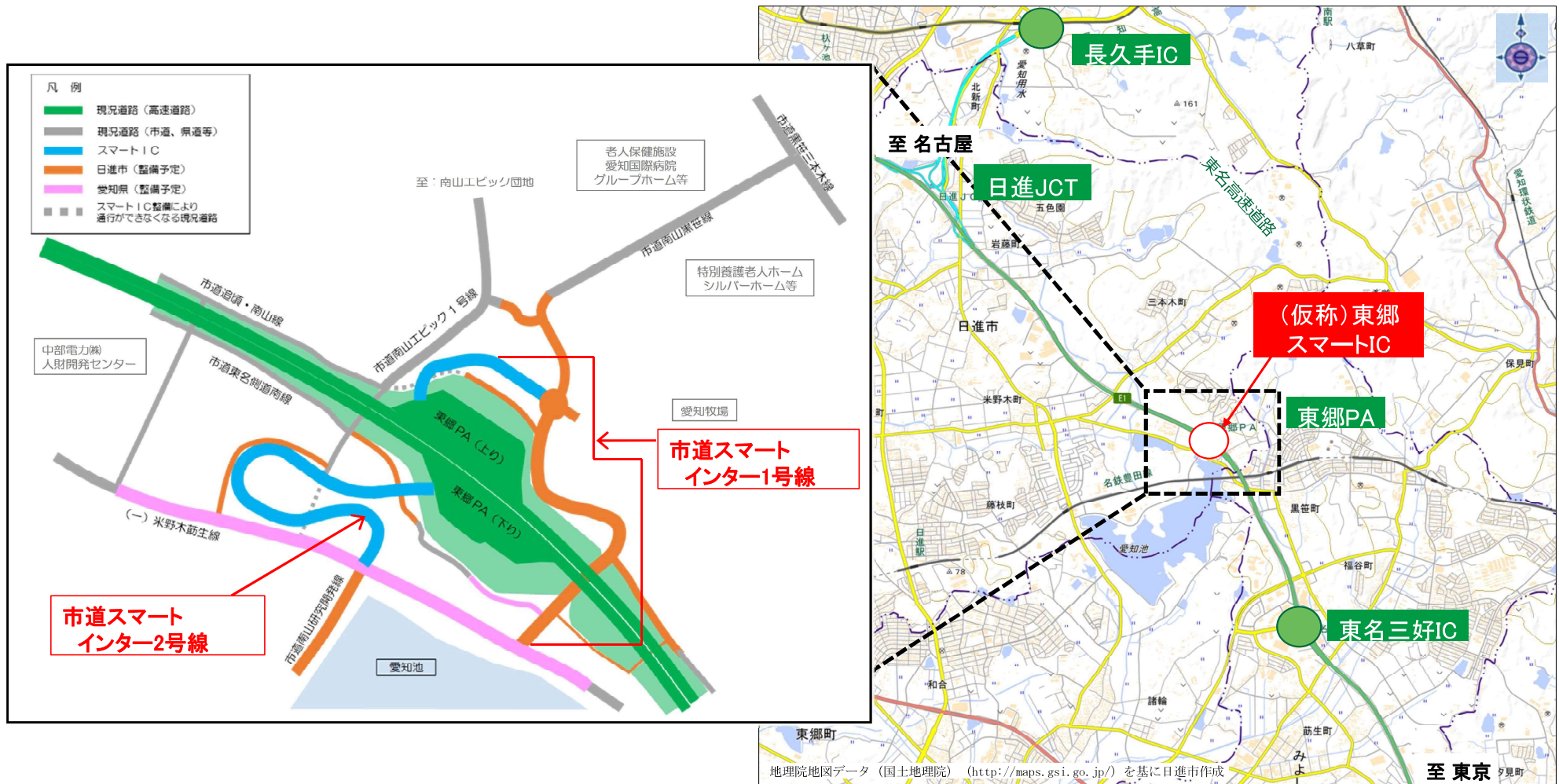


図3 計画位置

社会資本総合整備計画 事後評価

① 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備

- (連結位置) 愛知県日進市米野木町 こめのきちょう
- (連結予定施設) 上り線：市道スマートインター1号線
下り線：市道スマートインター2号線



社会資本総合整備計画 事後評価

① 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備

● 期待される整備効果

- ・日進市の東郷PAにおけるスマートIC整備による出入交通量は、2,600台/日(上下線合計・平成42年(2030年)時点)と算出しています。
- ・期待される整備効果は、大きく以下に示す3点があげられます。

1. 周辺企業活動等の活性化

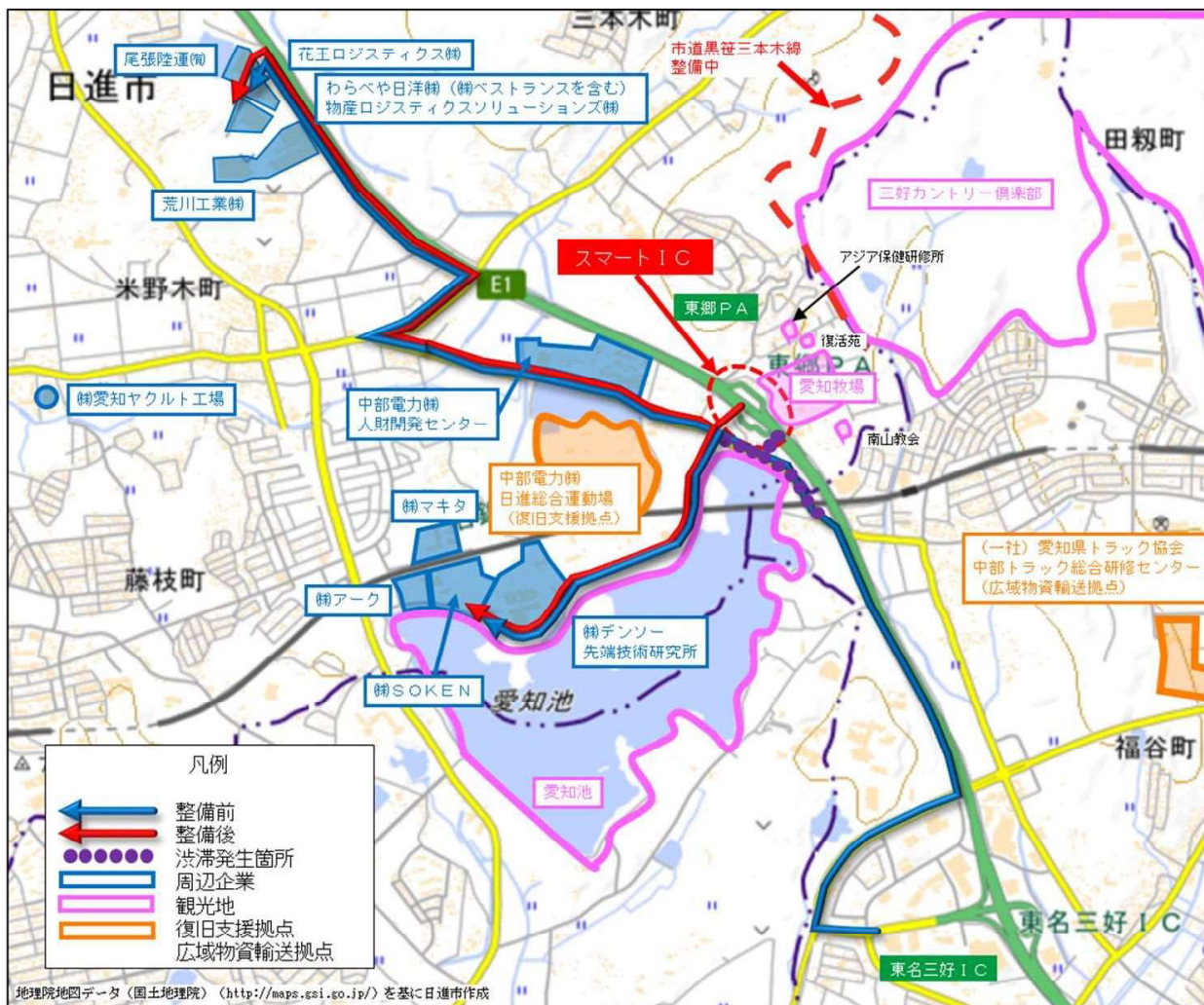
- ・高速道路へのアクセス性向上による利便性向上、渋滞緩和が期待される(住民・企業)
- ・高速道路の既存ストックを活用し、周辺企業への物流効率化などの効果を最大限に発揮させる

2. 周辺観光地の振興促進

- ・東郷PA周辺には観光地が密集しており、スマートIC整備により観光客増加と観光地までの時間短縮および観光地までのわかりやすさ向上が期待される

3. 大規模災害への対応強化

- ・東郷PA周辺には、大規模災害が発生した場合の復旧支援拠点(電力)と広域物資輸送拠点があり、スマートIC整備により大規模災害時の対応強化につながることが期待される



社会資本総合整備計画 事後評価

② 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備 事後評価書(案)

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備												
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	日進市												
計画の目標	<p>本計画は、第一東海自動車道(東名高速道路)の東郷PAにスマートインターチェンジ(スマートIC)の進入路等を整備するものである。</p> <p>日進市内には東名高速道路への出入口が存在せず、高速道路へのアクセス向上等が求められている状況である。</p> <p>スマートICの整備により、市民の利便性の向上、周辺道路の渋滞緩和はもとより、企業活動の活性化、観光の振興、大規模災害への対応強化等が期待できるものである。</p>												
全休事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,174	A	1,174	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R7末)
1	高速道路へのアクセス性向上 スマートIC周辺企業から東名三好ICまでのアクセス時間を計測(機織池周辺地区)(平日朝7時台)	20分	分	14分
2	高速道路へのアクセス性向上 スマートIC周辺企業から東名二好ICまでのアクセス時間を計測(日進研究開発団地)(平日朝7時台)	12分	分	6分
3	観光の振興 市内観光(観光施設、まつり)の来場者数を集計	46万人	万人	111万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

社会資本総合整備計画 事後評価

② 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備 事後評価書(案)

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	日進市	直接	日進市	市町村道	改築	市道スマートインター1号 線他1路線	ICアクセス(0次、一次) L=0.6km	日進市	■	■	■	■		421	1.6	未策定
	A01-002	道路	一般	日進市	直接	日進市	市町村道	改築	市道南山黒笹線他8路線	道路付替等 L=1.2km	日進市	■	■	■	■	■	753	1.6	未策定
										小計						1,174			
										合計						1,174			

社会資本総合整備計画 事後評価

② 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備 事後評価書(案)

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
日進市社会資本整備総合交付金評価委員会：令和8年3月 外部評価により実施した事後評価（案）に対し、市民の意見を反映させるため、パブリックコメントによる意見募集を行う。	令和8年3月～5月
	公表の方法 市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	用地買収に時間を要し、スマートICの開通については未定である。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	なし
○特記事項（今後の方針等）	
今後も用地買収を進め、スマートICの開通に向けて事業の進捗を図る。	

社会資本総合整備計画 事後評価

② 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備 事後評価書(案)

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	スマートIC周辺企業から東名三好ICまでのアクセス時間（機織池周辺地区）（平日朝7時台）	
	最終目標値	14分
	最終実績値	20分
2	スマートIC周辺企業から東名三好ICまでのアクセス時間（日進研究開発団地）（平日朝7時台）	
	最終目標値	6分
	最終実績値	12分
3	市内観光（観光施設、まつり）の来場者数	
	最終目標値	111万人
	最終実績値	37万人